



第2次みやぎ学校安全推進計画が公表されました

「第2次みやぎ学校安全推進計画～児童生徒等の命を守る地域と連携した学校安全の推進を目指して～」が令和4年10月25日に県教育委員会より公表されました。「いかなる災害や様々な危険からも、児童生徒等の命を確実に守り事故を未然に防ぐ学校安全体制の構築を図ることや、全ての児童生徒等が自分の命を守り他者を助ける力を身に付けること」を推進するとともに、市町村教育委員会や各学校における学校安全の取組に際して、活用できるよう作成されたものです。

計画には、「各学校における安全に係る取組を総合的かつ効果的に推進する」ことを目的に、5つの取組「1学校安全に関する組織的取組の推進、2家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全の推進、3学校における安全管理の取組の充実、4学校における安全に関する教育の充実、5東日本大震災等の教訓の継承」とそれぞれに目標が示されていますので、それらを参考に、是非、教育委員会、地域や学校、関係機関等と連携して取組を推進していただきたいと思えます。

学校訪問の際に、教育計画を拝見したり、校長先生から学校経営についてお聞きしたりして、管内のすべての学校で「学校安全」についての推進計画が整備されていることが分かりました。そして、「全ての児童生徒等が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けること」を目指して、危機管理マニュアルを見直すサイクルを構築したり、子供の視点を加えた安全対策を推進したり、地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育・訓練を実施したり、事故情報や学校の取組状況などデータを活用し学校安全を「見える化」する取組を行っていました。

右の写真は、白石市立大鷹沢小学校の児童会が作成した「けがのおおいばしょしらべ」ですが、校内のどこで（教室、校庭、体育館、廊下・階段等）何件のけがが発生したかを「見える化」したものです。このような工夫により、子供が主体的に行動できる安全に関する資質・能力が育っていくと考えられます。



教科指導力向上研修会の様子について

令和4年10月19日（水）【中学校保健体育】
会 場：柴田町立船岡中学校
提供授業：1年「マット運動（倒立前転）」



倒立前転ができるようになるという目標に向かって、「技の練習、アドバイスを伝える・聞く、見本動画の視聴、自己の動画の撮影と視聴」に取り組む授業でした。
技能レベルの高い生徒が見本を見せたり 技のポイントを理解している生徒がアドバイスを伝えたりするなど、協働的な活動が展開されました。

《参加者の感想から》

- ・小中学校の連携の大切さを感じました。小学校6年では、主に基本の技を、中学校ではそこから発展させた技を中心に学習活動を展開することを改めて理解しました。小学校の役割の大きさを認識することができました。（小学校）
- ・タブレットや掲示物をうまく用いて授業をしており、事前の準備をしっかりと行っていると感じました。安全面への配慮では、補助の仕方の徹底をしっかりと教えることでけがを防ぐことができるため、器械運動の1時間目に必ず教えていきたいと思いました。（中学校）

令和4年11月4日（金）【中学校音楽】
会 場：村田町立村田第一中学校
提供授業：3年「能 敦盛」



能「敦盛」を、音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律）に着目させながら鑑賞させ、能の良さを紹介文にまとめる授業でした。生徒は実際に謡（うたい）を謡うことで、能が音楽、舞踊、演劇などが一体となった総合芸術であることに気付いていました。

《参加者の感想から》

- ・小学校からの参加となり、違う立場からの視点で考えることができました。能は個人的に興味があり、能・狂言のワークショップに参加したこともありました。知識として身についたことが、今後、子供たちの心に残り、伝統の大切さに気付いていくのだろうと思います。（小学校）
- ・鑑賞分野の指導過程（日本伝統音楽）について、今後の指導に生かしていきたいと思いました。また、先生方の意見などを通して、いろいろな指導の方法があると再確認できた会になりました。また、ワークシートの工夫についてもいろいろ学ぶことができました。（中学校）